

岩手県雫石町のトンボ相

—準絶滅危惧種マダラヤンマの新たな採集記録を含めて—

佐々木 全¹ 佐々木 悠太² 渡辺 修二³

Dragonfly fauna in Shizukuishi Town, Iwate Prefecture

: Including a new collection record of *Aeshna mixta* Latreille, 1805, a near-threatened species

Zen SASAKI¹, Yuta SASAKI², Shuji WATANABE³

1 岩手大学 020-8550 盛岡市上田3丁目18-33 Iwate University, 3-18-33, Morioka City, 020-8550, Japan.

2 滝沢市 Takizawa City, Japan.

3 岩手県立博物館 Iwate Prefectural Museum

Abstract

To begin, we conducted surveys at two locations in Shizukuishi Town, Iwate Prefecture, to better understand the dragonfly fauna. As a result, 46 species from ten families were identified. This included the near-threatened species *Aeshna mixta* Latreille, 1805. This species was also the first of its discovery in a new location in Iwate Prefecture.

はじめに

岩手県雫石町は、岩手県中部西端に位置し、東西約24 km、南北約40 km、総面積608 km²、人口15,598名(2022年11月30日現在)の地域の農業地帯である。東で盛岡市と滝沢市に接し、盛岡市との境界には、御所ダムとそのための人造湖である御所湖があり、その周辺には岩手県立御所湖広域公園が整備されている。北は八幡平市に、南は、矢巾町、紫波町、西和賀町及び花巻市に、南は秋田県仙北市に、それぞれ連山を境界として接する。

自然豊かな雫石町にあって、相応のトンボ相が期待されるが、これまで十分な調査は実施されていない。そこで、雫石町におけるトンボ相を明らかにすべく、その端緒として、生活圏である4地区(雫石地区、御所地区、御明神地区、西山地区)のうち、盛岡市や滝沢市に隣接する雫石地区と御所地区における調査を実施した。

方法

調査地は、トンボの生息地あるいは飛来地であり、

安全に調査が実施できると判断された次の2地区における各地点を調査地とした。すなわち、①七ツ森森林公園(雫石地区に位置し、御所湖の北側から1キロほど離れた山林地帯であり、その一角にある池周辺。以下では森林公園と記す)、②御所湖乗り物広場(御所地区に位置し、御所湖の西側のほとりに整備された岩手県立御所湖広域公園の施設の1つであり、その一角にある池周辺。以下では乗り物広場と記す)である。

各調査地においては、2022年5月~10月まで、1回2時間程度、月2回程度を原則としつつ、必要に応じて回数を増やして訪問した。発見した個体は目視または捕獲し、図鑑「ネイチャーガイド 日本のトンボ」(尾園ほか2012)に基づき種と雌雄の別を同定した。捕獲した個体は、写真撮影をした後リリースした。写真撮影は、自動で撮影日および位置情報が記録されるよう設定されたカメラを用いた。個体数については、「1頭(単独)」「2~3頭(少数)」「4~9頭(普通)」「10頭以上(多数)」として概算にて記録した。

結果

本調査によって 10 科 46 種（森林公園では 10 科 34 種，乗り物広場では 10 科 37 種）が確認された。このリストを以下に示した。種の掲載順及び学名は「ネイチャーガイド 日本のトンボ」（尾園ほか 2012）に従った。各調査地における確認種を表 1 に示した。

アオイトトンボ科 Lestidae

オツネトンボ *Sympetma paedisca* (Brauer, 1877)
ホソミオツネトンボ *Indolestes peregrinus* (Ris, 1916)
アオイトトンボ *Lestes sponsa* (Hansemann, 1823)
オオアオイトトンボ *Lestes temporalis* Selys, 1883
ただし，アオイトトンボは，乗り物広場に限られた。

カワトンボ科 Calopterygidae

ニホンカワトンボ *Mnais costalis* Selys, 1869
ミヤマカワトンボ *Calopteryx cornelia* Selys, 1853
ハグロトンボ *Atrocalopteryx atrata* (Selys, 1853)
ただし，ニホンカワトンボは森林公園において 1 回の確認に限られた。ハグロトンボは，乗り物広場に限られた。

モノサシトンボ科 Platycnemididae

モノサシトンボ *Pseudocoperia annulata* (Selys, 1863)

イトトンボ科 Coenagrionidae

キイトトンボ *Ceriagrion melanurum* Selys, 1876
エゾイトトンボ *Coenagrion lanceolatum* (Selys, 1872)
オゼイトトンボ *Coenagrion terue* (Asahina, 1949)
クロイトトンボ *Paracercion calamorum* (Ris, 1916)
オオイトトンボ *Paracercion sieboldii* (Selys, 1876)
モートンイトトンボ *Mortonagrion selenion* (Ris, 1916)
アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* Brauer, 1865
ただし，オゼイトトンボは森林公園において 1 回の確認に限られた。オオイトトンボ，モートンイトトンボ，アジアイトトンボは乗り物広場に限られた。

ヤンマ科 Aeshnidae

サラサヤンマ *Sarasaeschna pryeri* (Martin, 1909)
マダラヤンマ *Aeshna mixta* Latreille, 1805
オオルリボシヤンマ *Aeshna crenata* Hagen, 1856
ルリボシヤンマ *Aeshna juncea* (Linnaeus, 1758)
ギンヤンマ *Anax parthenope* (Selys, 1839)

クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus* Oguma, 1915
ただし，サラサヤンマは，両調査地において各 1 回の確認に限られた（写真 1，採集：第二著者，岩手県立博物館所蔵標本番号 280421）。マダラヤンマは乗り物広場に，ルリボシヤンマは森林公園に限られた。

なお，マダラヤンマは多数のオオルリボシヤンマと競合してパトロール飛行する 2 個体が確認された（写真 2，採集：第二著者，岩手県立博物館所蔵標本番号 280419）。

サナエトンボ科 Gomphidae

コオニヤンマ *Sieboldius albardae* Selys, 1886
オナガサナエ *Melligomphus viridicostus* (Oguma, 1926)
ダビドサナエ *Davidius nanus* (Selys, 1869)
コサナエ *Trigomphus melampus* (Selys, 1869)
ミヤマサナエ *Anisogomphus maacki* (Selys, 1872)
ただし，オナガサナエは森林公園において 1 回の確認に限られた。ダビドサナエは森林公園に，ミヤマサナエは乗り物広場に限られた。

オニヤンマ科 Cordulegastridae

オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* (Selys, 1854)

エゾトンボ科 Corduliidae

タカネトンボ *Somatochlora uchidai* Forster, 1909
エゾトンボ *Somatochlora viridiaenea* (Uhler, 1858)
ただし，エゾトンボは，森林公園において 1 回の確認に限られた（写真 3，採集：第一著者，岩手県立博物館所蔵標本番号 276931）。

ヤマトンボ科 Macromiidae

オオヤマトンボ *Epophthalmia elegans* (Brauer, 1865)
ただし，オオヤマトンボは，森林公園において 1 回の確認に限られた。

表1 各調査地における確認種

科	種(和名)	森林公園	乗り物広場	過去の調査		備考
				御所ダムものしり館所蔵標本	尾入野湿性植物園	
アオイトトンボ科	オツネトンボ	**♂♀	****♂♀			
	ホソオツネトンボ	****♂♀	****♂♀			
	アオイトトンボ		****♂♀			
	オオアオイトトンボ	***♂♀	****♂♀	○(2010.8.9)	○	
カワトンボ科	ニホンカワトンボ	*♂		○(2020.6.1)	○	
	アオハダトンボ				○	
	ミヤマカワトンボ	**♂♀	**♂♀	○(2020.6.2)	○	
	ハグロトンボ		****♂♀	○(2010.8.5;2020.7.22)	○	
モノサシトンボ科	モノサシトンボ	****♂♀	**♂♀	○(2010.8.9)	○	
イトトンボ科	キイトトンボ	***♂♀	****♂♀	○(2010.8.5)	○	
	エゾイトトンボ	****♂♀	****♂♀	○(2010.5.23)		
	オゼイトトンボ	**♂		○(2010.8.6)	○	
	クロイトトンボ	****♂♀	****♂♀			
	オオイトトンボ		****♂♀			
	モートンイトトンボ		****♂♀		○	環境省レッドリスト準絶滅危惧種, 岩手レッドデータブックDランク
	アジアイトトンボ		****♂♀	○(2010.8.6)		
ヤンマ科	サラヤンマ	*♂	*♂			岩手レッドデータブックDランク
	ミルンヤンマ			○(2022.9.14)	○	
	マダラヤンマ		**♂			環境省レッドリスト準絶滅危惧種, 岩手レッドデータブックBランク
	オオルリボシヤンマ	****♂♀	****♂♀	○(2010.9.30)	○	
	ルリボシヤンマ	***♂♀		○(2010.9.30)	○	
	ギンヤンマ	**♂	****♂♀		○	
	クロスジギンヤンマ	****♂♀	**♂♀	○(2022.6.1)	○	
サナエトンボ科	ウチワヤンマ			○(2022.7.22)		
	コオニヤンマ	***♂♀	**♂♀	○(2010.8.5)	○	
	オナガサナエ	*♂			○	
	ダビドサナエ	*♂			○	
	ミヤマサナエ		****♂			
オニヤンマ科	オニヤンマ	****♂♀	**♂♀	○(2022.6.1)	○	
エゾトンボ科	タカネトンボ	**♂♀	*♂	○(2010.8.9;2022.7.22)	○	
	エゾトンボ	*♀				岩手レッドデータブック情報不足
ヤマトンボ科	オオヤマトンボ	*♀		○(2022.7.22)		
	コヤマトンボ			○(2022.7.21)		
トンボ科	チョウトンボ		***♂♀			
	ナツアカネ	*♀	*♂	○(2020.9.16.)	○	
	ノシメトンボ	****♂♀	****♂♀		○	
	アキアカネ	****♂♀	****♂♀	○(2010.8.5)	○	
	マユタテアカネ	**♂♀	*♂		○	
	マイコアカネ		****♂♀			
	ミヤマアカネ		**♂♀	○(2010.8.9;2020.9.16)	○	
	コシアキトンボ	***♀不			○	
	コフキトンボ		**♂♀			
	ショウジョウトンボ	***♂♀	****♂♀	○(2010.8.6)		
	ウスバキトンボ	*♂	**♂♀		○	
	ハラビロトンボ	**♂♀	****♂♀	○(2010.8.5;2020.6.1)	○	
	シオカラトンボ	*♂	****♂♀	○(2010.8.5;2020.7.22)	○	
	シオヤトンボ	***♂♀	**♂♀	○(2020.6.1)	○	
	オオシオカラトンボ	**♂♀	**♂♀	○(2010.8.9)	○	
	ヨツボシトンボ		****♂♀			

*1頭(単独), **2~3頭(少数), ***4~9頭(普通), ****10頭以上(多数)



写真1 サラサヤンマ 雄 (七ツ森, 2022. 6. 12)



写真2 マダラヤンマ 雄 (西安庭, 2022. 10. 1)



写真3 エゾトンボ 雌 (森林公園, 2022. 8. 20)

トンボ科 Libellulidae

- チョウトンボ *Rhyothemis fuliginosa* Selys, 1883
 - ナツアカネ *Sympetrum darwinianum* (Selys, 1883)
 - ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* (Selys, 1883)
 - アキアカネ *Sympetrum frequens* (Selys, 1883)
 - マユタテアカネ *Sympetrum eroticum* (Selys, 1883)
 - マイコアカネ *Sympetrum kunckeli* (Selys, 1884)
 - ミヤマアカネ *Sympetrum pedemontanum* (Allioni, 1766)
 - コシアキトンボ *Pseudothemis zonata* (Burmeister, 1839)
 - コフキトンボ *Deiella phaon* (Selys, 1883)
 - ショウジョウトンボ *Crocothemis servilia* Drury, 1770
 - ウスバキトンボ *Pantala flavescens* (Fabricius, 1798)
 - ハラビロトンボ *Lyriothemis pachygastra* (Selys, 1878)
 - シオカラトンボ *Orthetrum albistylum* (Selys, 1848)
 - シオヤトンボ *Orthetrum japonicum* (Uhler, 1858)
 - オオシオカラトンボ *Orthetrum melania* (Selys, 1883)
 - ヨツボシトンボ *Libellula quadrimaculata* Linnaeus, 1758
- ただし、ナツアカネは両調査地において各1回の確認に限られた。コシアキトンボは森林公園に、チョウトンボ、マイコアカネ、ミヤマアカネ、コフキトンボ、ヨツボシトンボは乗り物広場に限定された。

考察

本調査で確認された10科45種について、環境省レッドリスト（環境省2020）ならびに岩手レッドデータブック（岩手県環境生活部自然保護課2014）と対照させたところ、モートナイトトンボが、環境省レッドリストで準絶滅危惧種ならびに岩手レッドデータブックでDランク（準絶滅危惧種に準ずる種及び優れた自然環境の指標となる種）とされていた。また、サラサヤンマが岩手レッドデータブックでDランク（優れた自然環境の指標となる種）とされていた。その他、エゾトンボが、岩手レッドデータブックで情報不足とされていた。

最も注目すべきはマダラヤンマである。本種は、環境省レッドリストで準絶滅危惧種ならびに岩手レッドデータブックでBランクとされている。そもそも、岩手県における本種の産地は、近年沿岸部に限られていた（岩手県環境生活部自然保護課2014）。本調査における記録は、盛岡市での約40年ぶりの記録（佐々木ほか2022）に次ぐものであり、内陸部での産地拡大が示唆される。今後、産地の特定が期待される。

最後に、本調査で確認された10科46種について、過去の御所湖周辺の盛岡市側での調査と比較対照した。具体的には、尾入野湿性植物園における調査(佐々木・渡辺2022)と、北上川ダム統合管理事務所御所ダムが開設している資料館「ごしょものしり館」において所蔵されている御所湖で採集されたトンボの標本である。この結果、本調査では、アオハダトンボ、ミルンヤンマ、ウチワヤンマ、コヤマトンボが確認できなかった。これら過去調査は、いずれも御所湖のほりでの調査であり、地理的な位置関係から、今回確認されなかった種も、今後の調査によって雫石町でも確認される可能性があるだろう。

を目的とし、その端緒として、町内2地区(雫石地区、御所地区)における調査を実施した。その結果、10科46種が確認された。ここには、環境省レッドリストにおいて準絶滅危惧種とされるマダラヤンマ *Aeshna mixta* Latreille, 1805 が含まれた。これは、岩手県における本種の新たな産地の発見の兆しとなった。

キーワード：トンボ相，雫石町，マダラヤンマ

謝辞

本調査に際しては、各管理者によるご了解をいただきました。特にも、御所湖広域公園指定管理者 小岩井農牧(株)共同企業体 “KOIWA” 御所湖広域公園管理事務所 所長 澤田一憲 様 にはご厚情を賜りました。また、乗り物広場におけるヨツボシトンボの確認は、澤崎わかかなさん(当時、岩手大学教育学部附属小学校6年生)とその保護者様からの情報提供に基づきました。記して感謝申し上げます。

引用文献

岩手県環境生活部自然保護課(2014)いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物 web版。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0316/rdb/index.html> (参照 2022/12/24)。

環境省(2020)環境省レッドリスト。

<https://www.env.go.jp/press/107905.html> (参照 2022/12/24)。

尾園暁・川島逸郎・二橋亮(2012)ネイチャーガイド トンボ図鑑。文一総合出版。

佐々木全・渡辺修二(2022)岩手県盛岡市「尾入野湿性植物園」のトンボ相-。岩手大学教育学部研究年報 81: 83-95。

佐々木全・佐々木悠太・渡辺修二(2022)岩手大学キャンパスのトンボ相-準絶滅危惧種マダラヤンマの採集記録を含めて-。岩手県立博物館調査研究報告 39: 8-12。

要 旨

岩手県雫石町におけるトンボ相を明らかにすること